



志・和・創

～「頑張り」と「優しさ」の発揮～



厚東川中だより第19号
宇部市立厚東川中学校
令和5年1月27日発行

「よりよい厚東川中をめざすための学校評価結果（後期）」

生徒や保護者の皆様に、「よりよい厚東川中をめざすための学校評価アンケート」を実施させていただきました。ご協力ありがとうございました。アンケート結果を報告いたします。

項目	内容	保護者	生徒
1 思考力 表現力	授業や様々な活動を通して、思考力や表現力、コミュニケーション能力が向上した。	24% 66% 7%	50% 36% 12%
2 家庭学習	計画的に家庭学習を行い、その内容も向上している。	17% 39% 34%	30% 40% 23%
3 学習指導	授業は、ICTが活用されたり、学び合い活動が取り入れられたりして、生徒が「がんばろう」と思えるように工夫されている。	31% 42% 22% 6%	53% 30% 12% 5%
4 主体性	学校行事や生徒会活動、体験活動などに主体的に取り組んで、やりがいを感じている。	37% 46% 12% 5%	56% 28% 14% 2%
5 あいさつ	あいさつを積極的に行うことで、友達や地域の方々と温かい人間関係をつくろうとしている。	32% 49% 14% 5%	70% 21% 7% 2%
6 道徳	道徳の授業を受けることによって、自分の生き方を見つめ、多面的、多角的に考えようとしている。	13% 66% 21%	47% 44% 7%
7 人権	学校は、いじめ防止に向けて積極的に取り組んでおり、生徒も自他を大切に、いじめを許さない意識がある。	45% 43% 5% 8%	100% 0%
8 教育相談	生徒一人ひとりを大切に、温かい人間関係を育てており、生徒の自己有用感や達成感が高まっている。	36% 56% 5% 3%	55% 45% 0%
9 メディア コントロール	メディアコントロール(ゲーム、テレビ、スマホ、インターネット等)や情報モラルに気を付けて生活している。	15% 33% 40% 13%	37% 35% 23% 5%
10 地域連携	学校は、開かれており、家庭・地域と学校が一体となって指導を進めている。	18% 62% 18%	58% 26% 14%

生徒アンケート結果分析

○家庭学習とメディア利用を除き肯定的評価は全て8割以上であり、前期同様、概ね学校生活に満足している結果となりました。

○「学習・授業」

「授業のめあてを意識した家庭学習」として「厚東川中スタイル」を始めました。「あてはまる」と回答した生徒の増加から家庭学習への意識の向上がうかがえます。しかし、うまくできていない生徒もおり、個に合った家庭学習の仕方を指導していきたいと思います。授業についても「わかりやすく説明する力」等の課題について、学び合い活動の工夫と授業改善を行いながら指導していきます。

○「学校生活・人間関係」

前期に肯定的評価8割を切っていた「主体性」については、12%向上しました。生徒の主体性を生かした学校行事、地域連携活動、生徒会・委員会活動での協働や、教育相談、日常生活でのコミュニケーションの深まりからくる充実感や信頼感の高まりを感じます。また、「あいさつ」の項目は肯定的評価が15%向上し、頑張りたいことの上位に挙げられています。学校の一員として高めようと努力している様子がうかがえます。「人権」「教育相談」の項目は100%ですが、3学期からの目標として「思いやりのある言葉」を使うよ

う始業式で話をし、誰もが安心して過ごせる学校づくりをみんなで実行していくことを確認しました。

○「地域連携」

学校行事、地域連携活動への主体的な取り組み方や成功等が、地域のため、学校のためという思いに向かわせていると感じます。地域の方からも、授業参観・行事や熟議等を通して、地域貢献の意識や自分の考えをはっきり述べる生徒が育っているというご意見もいただきました。地域の方の温かいご支援の賜です。

保護者アンケート結果分析

○前期と比較して「家庭学習」「学習指導」の2項目の評価が下がりましたが、残り8項目は全て向上しました。10項目のうち6項目が8割を超えており、本校の教育活動において概ね好評価をしていただきました。

【保護者記述意見】

- ・他者を認め、友人や先輩の良い点を見つけられるようになった。
- ・小学校の頃より勉強の大切さをわかってきた。
- ・厚東川中学校に入学して、夢太鼓や部活動、委員会活動を通して人と関わりあうことができ子ども自身大きく成長している。全学年と触れ合うことで得られるものが大きいと感じている。
- ・地域や保護者も生徒や先生方と積極的にかかわることができる機会があると思う。
- ・部活、委員会活動については責任感をもって取り組んでいる。家庭学習は頑張っているが、なかなか成果が上がらないジレンマを感じている。
- ・友達と仲良くでき、学校が楽しいよううれしい。
- ・受験を控えて勉強や面接の練習などによく取り組んでいると思う。
- ・1年から3年を通じてクラブ活動や夢太鼓などを経験し、心身ともに成長したと思う。
- ・子どもの気になることを早めに連絡、対応していただけて助かる。あんしんメールも効果的。

○「学習・授業」

授業や家庭学習の指導については不十分であるという評価をいただきました。「厚東川中スタイル」という全校的な取組により、家庭学習への意識は向上しましたが、学力定着状況問題結果にみえるように学力向上への十分な時間の確保ができておらず、基礎力、理解力につながるほど主体的で継続的なものではないことがわかります。家庭学習の質の向上への指導とともに、家庭での過ごし方と関係するため、家庭との連携を取りながらスマホなどのメディアの使用と時間のコントロールについて引き続き指導していきたいと思えます。

○「学校生活・人間関係」

「道徳」「人権」「教育相談」における取組については、記述評価のご意見にもあるように理解していただきました(肯定的評価20%前後増加)。しかし、不十分と感じている方もおられます。「思いやりのある言葉」を使うよう共通理解したところなので、重点的、継続的に指導していき、敬愛と信頼を大切にしながら温かい人間関係づくりを行っていきます。

令和5年度厚東川中学校生徒会スローガン決定！

行動皆志（こうどうかいし）



1月の生徒集会で、生徒会長が令和5年の生徒会スローガンを発表しました。スローガンは「行動皆志」です。今ある厚東川中学校の課題を解決し、全校生徒が今よりもっと成長できる学校をめざし、「自ら考え、行動し、皆で志す」そのような思いを込めました。会長は、「1.01倍ずつ成長する」という目標を喚起させ、「課題をどうしたら改善していけるか、どうしたら成長できるかを、誰かが始めるのを待つのではなく、自分自身で考え行動することが、厚東川中生徒にとって必要だ。」「団結力の強化、成長に伴う自信、充実した学校生活を手にするために、『行動皆志』を実践していこう！」と呼びかけました。このスローガンのもと、「頑張り」と「優しさ」の発揮を期待します。

介助犬ボランティア

12月22日(木)、日本介助犬協会ボランティア委員の方を講師にお迎えし、「障害のある方の人権について考える。」をテーマに、人権教育学習会を行いました。介助犬について学ぶとともに、誰もが暮らしやすい優しい社会にするために、温かい気持ちを行動や言葉にすることの大切さを改めて実感できました。



二俣瀬 カルタ寄贈

二俣瀬地区まちづくりサークルの皆さんが製作された「二俣瀬ふるさと歌留多(かるた)」を寄贈していただきました。地域の名所や史跡、伝統文化を題材にした44句で、句の素晴らしさとともに絵札の写真が素敵で、「これはあの場所だ」「こんな名所があったんだね」と会話が弾みます。ありがとうございました。

